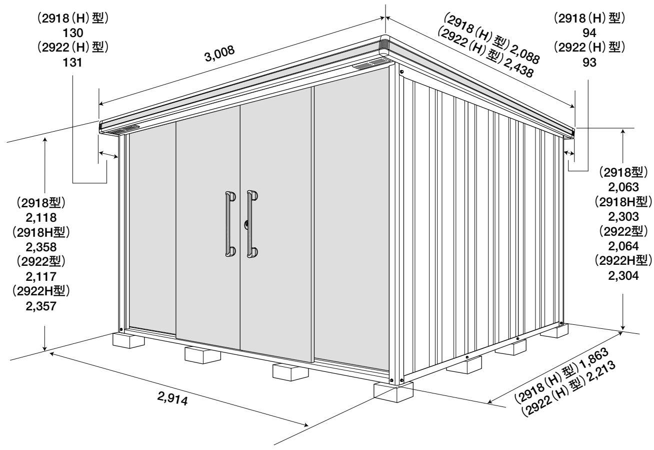
ヨド物置 エルモ
組立説明書 LMC-2918型・2918H型・2922型・2922H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



（2918（H）型）130
（2922（H）型）131
3,008
（2918（H）型）2,088
（2922（H）型）2,438
（2918（H）型）94
（2922（H）型）93
（2918型）2,118
（2918H型）2,358
（2922型）2,117
（2922H型）2,357
（2918型）2,063
（2918H型）2,303
（2922型）2,064
（2922H型）2,304
2,914
（2918（H）型）1,863
（2922（H）型）2,213

設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

※この組立説明書は「2922」の組立手順を基本に説明しております。

組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

1. まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
   ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmのものが適当です。
3. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立てしてください。
4. 部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。（安全のため必ず手袋を着用してください。）
5. 部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6. 部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

梱包／機種	部品	前後材	左右材	柱	補強				床	屋根		壁		袖壁	鼻隠し	扉	棚板	計
					一般	積雪	豪雪											
2918型	LM4-0163	LM4-0206	LM3-0304	LM3-0406	LM3-0506	LM3-0541	—	—	6-700X2	LM3-0913		LM3-1014X2	LM3-1022	LM3-1002	LM3-1161	LM3-1706	LM3-1903	15(15)
2918H型	LM4-0163	LM4-0206	LM3-0354	LM3-0456	LM3-0506	LM3-0541	—	—	6-700X2	LM3-0913		LM3-1064X2	LM3-1072	LM3-1052	LM3-1161	LM3-1756	LM3-1903	15(15)
2922型	LM4-0163	LM4-0206	LM3-0305	LM3-0406	LM3-0508	LM3-0542 LM3-0548	LM3-0581	LM1-0582	6-077X2	LM3-0926	LM3-0901	LM3-1015X2		LM3-1002	LM3-1161	LM3-1706	LM3-1903	15(16) [16]
2922H型	LM4-0163	LM4-0206	LM3-0355	LM3-0456	LM3-0508	LM3-0542 LM3-0548	—	—	6-077X2	LM3-0926	LM3-0901	LM3-1065X2		LM3-1052	LM3-1161	LM3-1756	LM3-1903	15(16)

※合計のカッコ内の数は、積雪型の梱包数を表しています。

梱包内容表

●部品

LM4-0163（2918（H）・2922（H））	
部材名	数量
ELC OD下枠接続金具 前 右	1
ELC OD下枠接続金具 前 左	1
接続金具後	2
ELC棚受 N 右	3
ELC棚受 N 左	3
ELC床押え取付金具	5
ELC下レール取付金具	6
床押え金具③	1
間柱金具⑤	4
間柱金具⑥	2
屋根止結金具	26(1)
屋根止結金具KN	3
ELC間柱固定金具	4
ボルト(スプリングワッシャー付)M6×15	9(1)
工具キット04	1
壁パネル止結金具	73
EL上枠前連結金具	1
戸車上昇防止プレートOD	4
打込みアンカー(L=324)	4
アンカープレートL	4
ELC取手	2
ボルトM6×15(白)	208(7)
フランジナットM6	3(1)
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書(二年)	1
組立チェックシート	1
機種名ラベル	1
ソフトテープL=2900	2

●前後材

LM4-0206（2918（H）・2922（H））	
部材名	数量
ELC下枠前OD-A4.0	1
下枠後 A4 (94)	1
ELC上枠前 OD-A4.0	1
ELC上枠後 A4.0	1
ELC床押え後 A4.0	1
ELC下レール OD-A4.0	1
ELC扉支持材OD-A	2

●左右材

LM3-0304（2918）	
部材名	数量
ELC下枠側 A2.5 右,左	左右各1
ELC上枠左 A2.5	1
ELC上枠右 A2.5	1
ELC間柱 側前2.5L	2
ELC間柱 側後2.5L	2

LM3-0305（2922）	
部材名	数量
下枠側 A3 (94)	2
ELC上枠左 A3.0	1
ELC上枠右 A3.0	1
ELC間柱 側 前3.0L	2
ELC間柱 側 後3.0L	2

LM3-0354（2918H）	
部材名	数量
ELC下枠側 A2.5右,左	左右各1
ELC上枠左 A2.5	1
ELC上枠右 A2.5	1
ELC間柱 側 前2.5H	2
ELC間柱 側 後2.5H	2

LM3-0355（2922H）	
部材名	数量
下枠側 A3 (94)	2
ELC上枠左 A3.0	1
ELC上枠右 A3.0	1
ELC間柱 側 前3.0H	2
ELC間柱 側 後3.0H	2

●柱

LM3-0406（2918・2922）	
部材名	数量
ELC柱前・OD-右L	1
ELC柱前・OD-左L	1
ELC柱後L	2
ELC間柱前L	2
ELC間柱後L	3
ELC戸当り(M)L	2

LM3-0456（2918H・2922H）	
部材名	数量
ELC柱前・OD-右H	1
ELC柱前・OD-左H	1
ELC柱後H	2
ELC間柱前H	2
ELC間柱後H	3
ELC戸当り(M)H	2

●補強

LM3-0506（2918（H））	
部材名	数量
ELCはりDHK A4.0(前)	1
ELCはりE A4.0(後)	1
床補強 A4	2

LM3-0508（2922（H））	
部材名	数量
ELC はり F A4.0(前)	1
ELC はり G A4.0(後)	1
床補強 A4	2

LM3-0541（2918（H））	
部材名	数量
ELC はりD A4.0S(前)	1
ELCはりEA4.0S(後)	1
床補強 A4	2
ELC上枠補強 OD-A	1

LM3-0542（2922（H））	
部材名	数量
ELC はりBCF A4.0S(前)	1
床補強 A4	1
ELC上枠補強 OD-A	1

LM3-0548（2922（H））	
部材名	数量
ELC はり G A4.0S(後)	1
ELC はりG A4.0SW(後)	1
床補強 A4	1

LM3-0581（2922）	
部材名	数量
はり A4U	1
はり後 A4U	1
支柱 U	1
床補強 A4	2
ELC上枠補強 OD-AU	1
ELC豪雪型補足説明書	1

LM1-0582（2922）	
部材名	数量
はりサポートU	1
サポート固定金具U	2
支柱プレートU	1
ボルトM6×15(白)	4
フランジボルトM6×45	2
フランジナットM6	2

●床

6-700（2918（H））	
部材名	数量
床板・C3	4

6-077（2922（H））	
部材名	数量
床板・A3	4

●屋根

LM3-0901（2922（H））	
部材名	数量
ELC 屋根板 小 A3.0	4

LM1-0913（2918（H））	
部材名	数量
ELC 屋根板 大 A2.5	1
ELC 屋根板 小 A2.5	7

LM1-0926（2922（H））	
部材名	数量
ELC 屋根板 大 A3.0	1
ELC 屋根板 小 A3.0	3

●壁

LM3-1014（2918）	
部材名	数量
ELC壁 L-A	4

LM3-1015（2922）	
部材名	数量
ELC壁 L-A	5

LM3-1022（2918）	
部材名	数量
ELC壁 L-F	2

LM3-1064（2918H）	
部材名	数量
ELC壁 H-A	4

LM3-1065（2922H）	
部材名	数量
ELC壁 H-A	5

LM3-1072（2918H）	
部材名	数量
ELC壁 H-F	2

●袖壁

LM3-1002（2918・2922）	
部材名	数量
ELC袖壁 L-A	2

LM3-1052（2918H・2922H）	
部材名	数量
ELC袖壁 H-A	2

●鼻隠し

LM3-1161（2918（H）・2922（H））	
部材名	数量
ELC鼻隠し前 A4.0	1
ELC鼻隠し後 A4.0	1
ELC換気栓	2

●扉

LM3-1706（2918・2922）	
部材名	数量
ELC扉右 L-A	1
ELC扉左 L-A	1
EL戸車プレートOD-A	2
扉施工説明書	1

LM3-1756（2918H・2922H）	
部材名	数量
ELC扉右 H-A	1
ELC扉左 H-A	1
EL戸車プレートOD-A	2
扉施工説明書	1

●棚

LM3-1903（2511（H）・2519（H））	
部材名	数量
ELC棚板 A2.0N	2

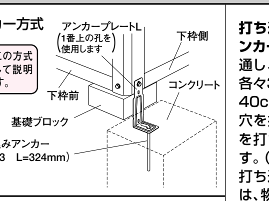
○部材名称にはA2.5、A4.0等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の長さの記号であり説明書文中では省略しております。

アンカー工事は設置場所によって図のような方法があります。
強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

土の上に設置する場合

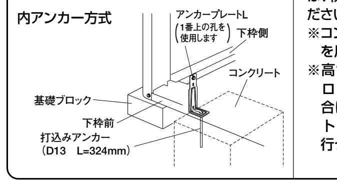
外アンカー方式

本文ではこの方式を基本として説明しております。



アンカープレートL
（1番上の孔を使用します）
下枠側
下枠前
コンクリート
基礎ブロック
打込みアンカー
（D13 L=324mm）

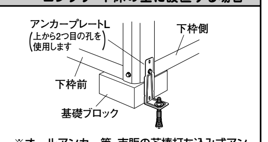
内アンカー方式



アンカープレートL
（1番上の孔を使用します）
下枠側
コンクリート
基礎ブロック
下枠前
打込みアンカー
（D13 L=324mm）

打ち込みアンカーをアンカープレートLの孔に通し、周囲にタテ、ヨコ各々30cm（Hタイプは40cm）、深さ40cmの穴を掘り、コンクリートを打ち込んで固定します。（4ヶ所）
打ち込みアンカーの頭は、物置本体に向けてください。
※コンクリートは市販品を用意してください。
※高さ15cm以上のブロックを使用する場合は、アンカープレートLまで根巻きを行ってください。

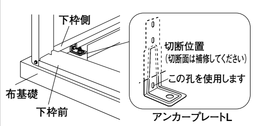
コンクリート床の上に設置する場合



アンカープレートL
（上から2つ目の孔を使用します）
下枠側
下枠前
基礎ブロック

※オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上で）で固定してください。

布基礎の上に設置する場合



下枠側
切断位置
（切断面は補修してください）
この孔を使用します
布基礎
下枠前
アンカープレートL

※アンカープレートLを上図の位置で切断・補修して取り付けます。
市販のアンカーボルトで固定してください。

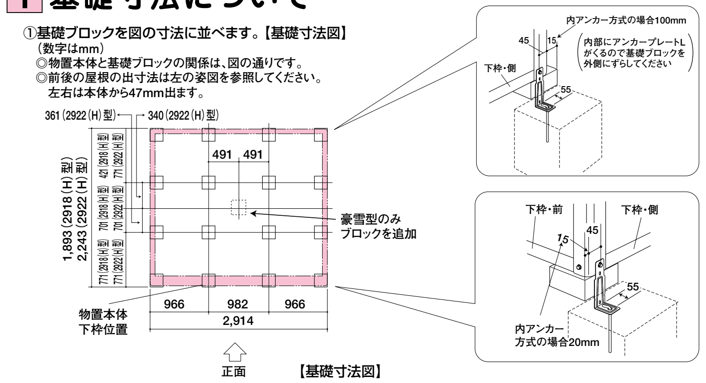
⚠注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

使用ビス一覧

ボルト（白）
M6×15
ナットM6
ボルト（スプリングワッシャー付）
M6×15
ボルト（白）M6×45

1 基礎寸法について

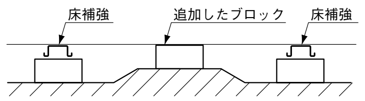
①基礎ブロックを図の寸法に並べます。【基礎寸法図】
（数字はmm）
◎物置本体と基礎ブロックの関係は、図の通りです。
◎前後の屋根の出寸法は左の姿図を参照してください。
左右は本体から47mm出ます。



361（2922（H）型）
340（2922（H）型）
491
491
1,893（2918（H）型）
2,243（2922（H）型）
421（2918（H）型）
771（2922（H）型）
701（2918（H）型）
701（2922（H）型）
771（2918（H）型）
771（2922（H）型）
豪雪型のみブロックを追加
物置本体下枠位置
966
982
966
2,914
正面
内アンカー方式の場合100mm
45
15
内部にアンカープレートLがくるので基礎ブロックを外側にずらしてください
下枠・側
55
下枠・前
下枠・側
15
45
55
内アンカー方式の場合20mm

【基礎寸法図】

②追加したブロックの上面高さを床補強の上面に合わせます。

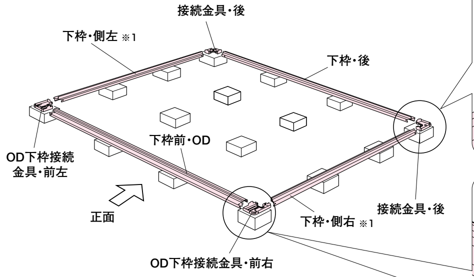


床補強
追加したブロック
床補強

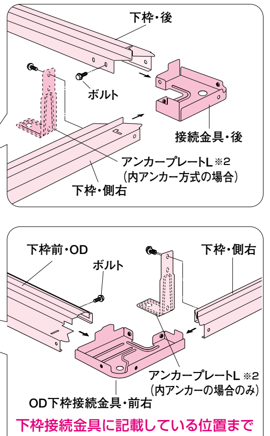
2 下枠の組立

①基礎ブロックの上に図のように部材を並べます。
②**接続金具・後**に**下枠・側右**、**左**および**下枠・後**を差込み、ボルト止めします。（2922（H）型の下枠側は左右共通です）
③**OD下枠接続金具・前右**に**下枠前・OD**および**下枠・側右**を差込み、ボルト止めします。左側も同様にして組立てます。

注意 水準器を使って基礎の水平を出してください。
基礎の水平が出ていないと扉がスムーズに開閉しない場合や、鍵がかかりにくくなる場合があります



接続金具・後
下枠・側左 ※1
下枠・後
下枠前・OD
OD下枠接続金具・前左
正面
接続金具・後
下枠・側右 ※1
OD下枠接続金具・前右



下枠・後
ボルト
接続金具・後
アンカープレートL ※2
（内アンカー方式の場合）
下枠・側右
下枠前・OD
ボルト
下枠・側右
アンカープレートL ※2
（内アンカーの場合のみ）
OD下枠接続金具・前右

下枠接続金具に記載している位置まで下枠側を差し込んでください。

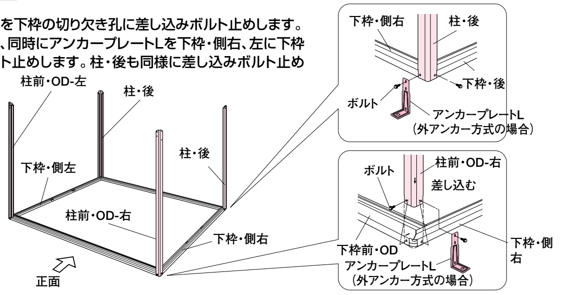
※1. 2922（H）型の下枠側は左右共通です。

※2. アンカー工事が内アンカー方式の場合は、**アンカープレートL**を**下枠・側右**、**左**に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。
床板を並べる前に取付けてください。

ボルト 8本

3 柱の組立

柱前・OD右、**左**の下端を下枠の切り欠き孔に差し込みボルト止めします。外アンカー方式の場合、同時にアンカープレートLを下枠・側右、左に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。柱・後も同様に差し込みボルト止めします。



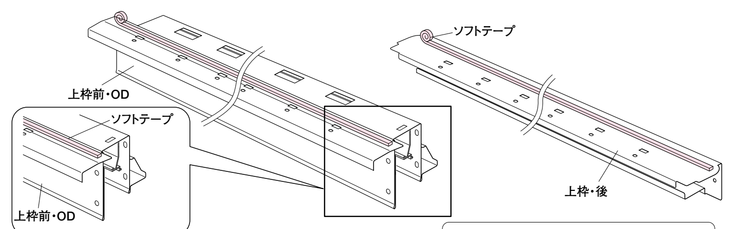
柱前・OD-左
柱・後
柱・後
下枠・側左
柱前・OD-右
下枠・側右
正面
下枠・側右
柱・後
下枠・後
ボルト
アンカープレートL
（外アンカー方式の場合）
ボルト
柱前・OD-右
差し込む
下枠前・OD
下枠・側右
アンカープレートL
（外アンカー方式の場合）

ボルト 8本

4 上枠の組立

①**ソフトテープ**を**上枠前・OD**および**上枠・後**に貼付けます。

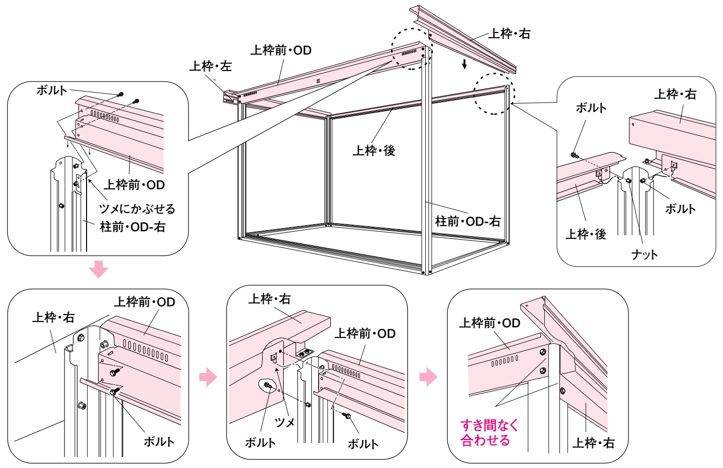
注意 ソフトテープはしっかりと貼付けてください。



ソフトテープ
上枠前・OD
ソフトテープ
上枠前・OD
上枠・後

②**上枠前・ODを柱前・OD右**、**左**のツメにかぶせて、ボルト止めします。
上枠・後のツメを柱・後に引っかけ、ボルト・ナットで止めます。
③**上枠・右**、**上枠・左**も同様に取付けます。

注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

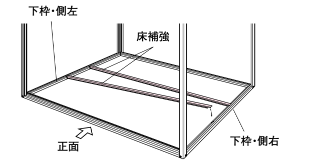


上枠・右
上枠前・OD
上枠・左
ボルト
上枠前・OD
ツメにかぶせる
柱前・OD-右
上枠・後
柱前・OD-右
上枠・右
ボルト
ボルト
上枠・後
ナット
上枠前・OD
上枠・右
ボルト
上枠・右
上枠前・OD
ツメ
ボルト
ボルト
上枠前・OD
すき間なく合わせる
上枠・右

ボルト 16本.ナット2コ

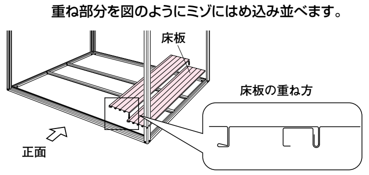
5 床板の組立

①**床補強**を**下枠・側右**、**左**の切込みに落し込みます。



下枠・側左
床補強
正面
下枠・側右

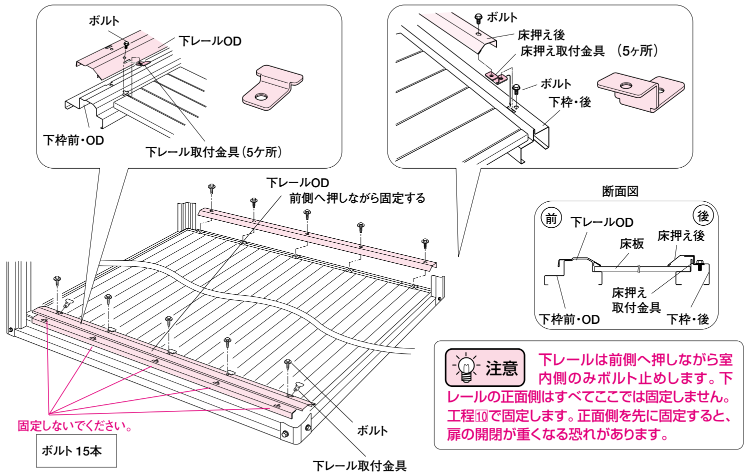
②**床板**を一方の端（どちらからでもかまいません）から順に並べます。
重ね部分を図のようにミゾにはめ込み並べます。



床板
床板の重ね方
正面

6 下レール・床押え後の組立

下レールODと**床押え後**を取付けます。**下レールOD**は**床板**と**下枠前・OD**の上に載せ、庫内側のみ**下レール取付金具**でボルト止めします。
床押え後は**床押え取付金具**を下枠に取付け、床押え後を金具にかぶせボルト止めします。



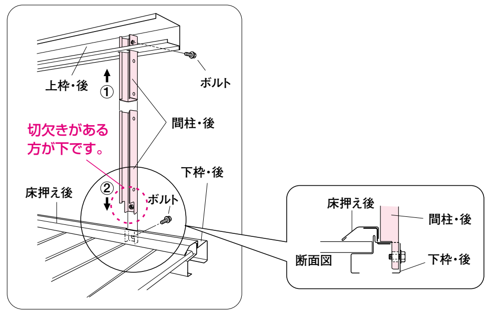
ボルト
下レールOD
下枠前・OD
下レール取付金具（5ケ所）
ボルト
床押え後
床押え取付金具 （5ヶ所）
ボルト
下枠・後
下レールOD
前側へ押しながら固定する
断面図
前
下レールOD
床板
後
床押え後
床押え取付金具
下枠前・OD
下枠・後
固定しないでください。
ボルト
下レール取付金具

注意 下レールは前側へ押しながら室内側のみボルト止めします。下レールの正面側はすべてここでは固定しません。工程⑩で固定します。正面側を先に固定すると、扉の開閉が重くなる恐れがあります。

ボルト 15本

7 間柱後の組立

①**間柱・後**の上端を**上枠・後**に、差し込みます。
②下端を**下枠・後**に差し込んで上下共ボルト止めします。

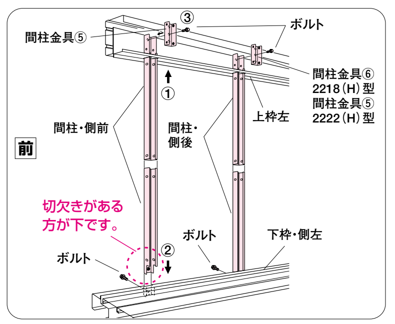


上枠・後
①
ボルト
間柱・後
切欠きがある方が下です。
下枠・後
床押え後
②
ボルト
床押え後
間柱・後
断面図
下枠・後

ボルト 6本

8 間柱側の組立

①**間柱・側中**及び**側後**の上端を**上枠・左**（**右**）に差し込みます。
②下端を**下枠・側左**（**右**）に差し込みボルト止めします。
③**間柱・側前**の上端に**間柱金具⑤**をはめ込み、中央の孔でボルト止めします。
④2918型の場合、**間柱・側後**の上端に**間柱金具⑥**をはめ込み、中央の孔でボルト止めします。
間柱金具⑤が2個余ります。
2922型の場合、**間柱・側後**の上端に**間柱金具⑤**をはめ込み、中央の孔でボルト止めします。
間柱金具⑥が2個余ります。



間柱金具⑤
③
ボルト
間柱金具⑥
2218（H）型
間柱金具⑤
2222（H）型
上枠左
間柱・側前
間柱・側後
前
①
切欠きがある方が下です。
ボルト
ボルト
②
下枠・側左

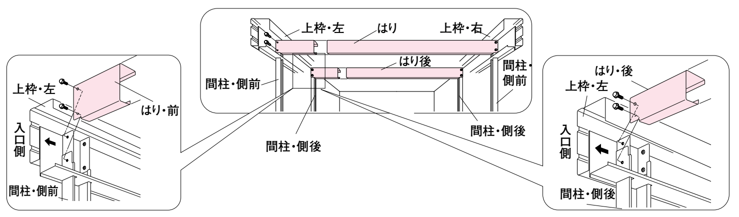
ボルト 8本

9 はりの組立

注意 はりは、前と後の形状が異なりますので間違えないよう注意してください。

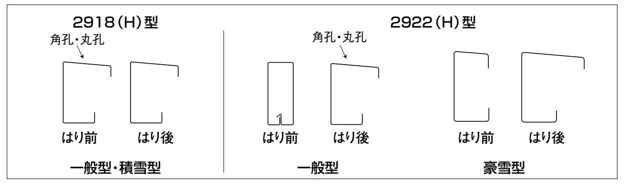
2918（H）型、2922（H）型の一般型、豪雪型

①**はり・後**を両側の**間柱・側後**の上にのせてボルトで止めます。
②**はり・前**を両側の**間柱・側前**の上にのせてボルトで止めます。
2922（H）型のはり・前は、右端の**間柱・側前**に差し込んだ後、左端の**間柱・側前**にはめ込みます。



上枠・左
はり
上枠・右
はり後
間柱・側前
間柱・側前
間柱・側後
間柱・側後
上枠・左
はり・前
入口側
間柱・側前
はり・後
上枠・左
入口側
間柱・側後

はり断面図

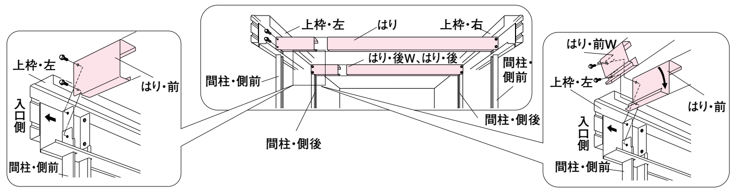


2918（H）型
角孔・丸孔
はり前
はり後
一般型・積雪型
2922（H）型
角孔・丸孔
はり前
はり後
一般型
はり前
はり後
豪雪型

ボルト 8本

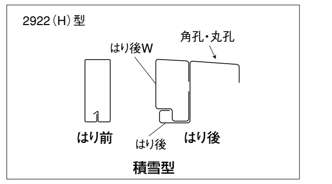
2922（H）型の積雪型

①**はり・後を**両側の**間柱・側後**の上にのせ、**はり・後W**を図のように**はり・前**にのせ、同時にボルトで止めます。



上枠・左
はり
上枠・右
はり・後W、はり・後
間柱・側前
間柱・側前
間柱・側後
間柱・側後
上枠・左
はり・前
入口側
間柱・側前
はり・前W
上枠・左
はり・前
入口側
間柱・側前

はり断面図

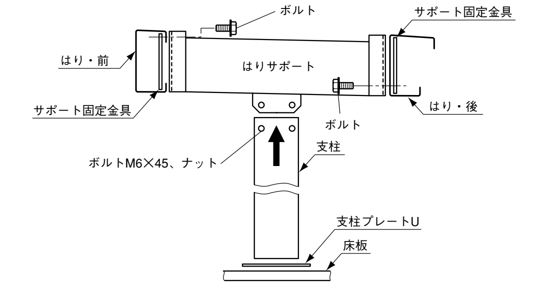


2922（H）型
角孔・丸孔
はり後W
はり前
はり後
はり後
積雪型

ボルト 8本

はりサポートの組立て （2922型の豪雪型のみ）

●**はりサポート**を、前後のはりに取付けます。
●はりの内側に、**サポート金具**を入れ、ボルト止めしてください。
はりサポートに支柱を、ボルトナットで取付けます。
この時、床板と支柱の間に**支柱プレートU**を入れてください。



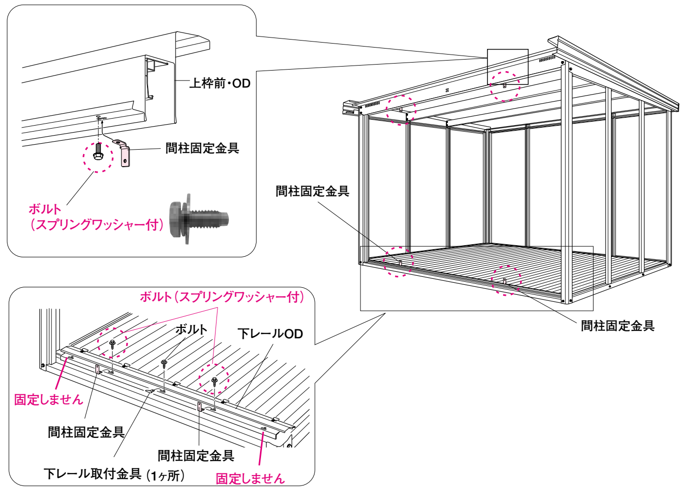
ボルト
サポート固定金具
はり・前
はりサポート
サポート固定金具
ボルト
はり・後
支柱
ボルトM6×45、ナット
支柱プレートU
床板

ボルト 4本
ボルトM6×45 2本、ナット 2コ

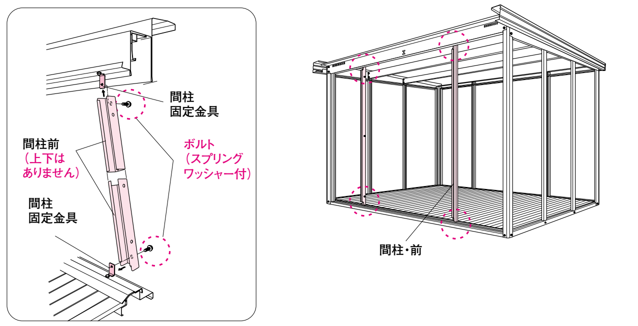
10 間柱前の組立

注意 ◌内のボルトはボルト（スプリングワッシャー付）を使用してください。

①**上枠前・OD、下レール・OD**（工程6で固定しなかった箇所）に**間柱固定金具**と**下レール取付金具**をボルト止めします。


上枠前・OD
間柱固定金具
ボルト（スプリングワッシャー付）
間柱固定金具
間柱固定金具
ボルト（スプリングワッシャー付）
ボルト
下レールOD
固定しません
間柱固定金具
間柱固定金具
下レール取付金具（1ヶ所）
固定しません

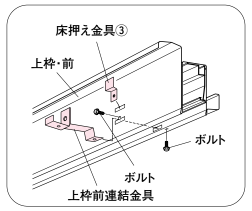
②**間柱前**の上側を先に入れ、次に下側を入れて両端をボルト止めします。


間柱固定金具
間柱前（上下はありません）
ボルト（スプリングワッシャー付）
間柱固定金具
間柱・前

ボルト　1本
ボルト（スプリングワッシャー付）8本

11 上枠前連結金具の取付け

①**上枠前連結金具**を**上枠・前**の中央に差し込み、**床押え金具**③とボルトで固定します。


床押え金具③
上枠・前
ボルト
ボルト
上枠前連結金具

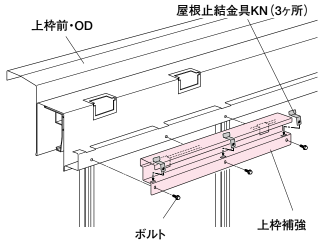
注意 積雪型の場合は、上枠前連結金具と上枠補強を一緒にボルト止めします。（組立説明書12）

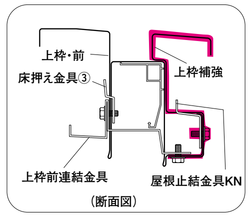
ボルト　2本

12 上枠補強の取付け（積雪型、豪雪型のみ）

積雪型

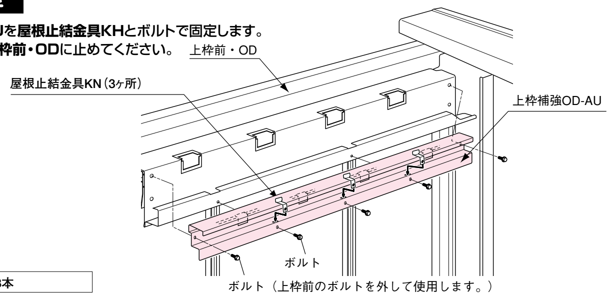
上枠補強を**屋根止結金具KN**とボルトで固定します。


屋根止結金具KN（3ヶ所）
上枠前・OD
ボルト
上枠補強


上枠・前
床押え金具③
上枠補強
上枠前連結金具
屋根止結金具KN
（断面図）

豪雪型

上枠補強OD-AUを**屋根止結金具KH**とボルトで固定します。
この時、両端は**上枠前・OD**に止めてください。

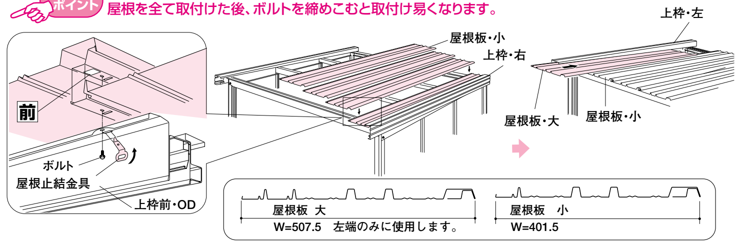

上枠前・OD
屋根止結金具KN（3ヶ所）
上枠補強OD-AU
ボルト
ボルト（上枠前のボルトを外して使用します。）

ボルト　3本

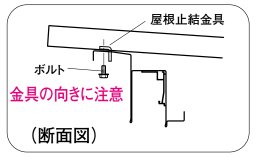
13 屋根板の取付け

①**屋根板**は、物置に向かって右端から**屋根板・小**を順に取付けて行き、（1枚目～7枚目）左端に**屋根板・大**（8枚目のみ）を取付けます。この時 前 のマークの入っている方を前にします。
②隣同志の屋根板の**角孔**と**上枠・後の角孔**に屋根止結金具（21ヶ所）を通しボルトで仮止めします。**上枠前・OD**も同様に仮止めします。

ワンポイント 屋根止結金具は、上枠・後から先に取付け仮止めします。屋根を全て取付けた後、ボルトを締めこむと取付け易くなります。


前
ボルト
屋根止結金具
上枠前・OD
屋根板・小
上枠・右
上枠・左
屋根板・大
屋根板・小
屋根板　大
W=507.5　左端のみに使用します。
屋根板　小
W=401.5

注意 屋根止結金具の向きを確認して取付けてください。


屋根止結金具
ボルト
金具の向きに注意
（断面図）

ボルト　21本

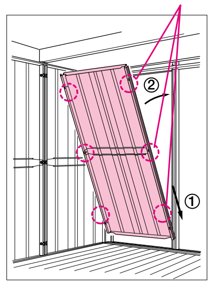
14 袖壁・壁パネルの取付け

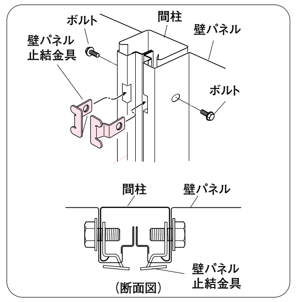
注意 壁パネル、袖壁は上下がありますので注意してください。壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の壁パネル止結金具の角孔が上下方向にずれる場合は、基礎の水平、本体の立ちを確認してください。

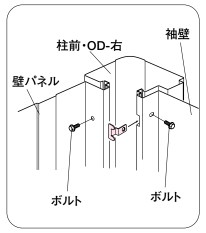
①室内から**壁パネル（Ⓐ壁・Ⓕ壁の2種類があります）**をはめ込みます。下を先に入れて、上をはめ込みます。
②上下中央の3ヶ所を**壁パネル止結金具**でボルト止めします。柱前と固定する側面の箇所は壁パネル止結金具は使いません。柱後部と袖壁を固定する箇所は壁パネル止結金具でボルト止めします。
③**袖壁**は壁パネルと同様に取付けます。

ワンポイント 壁パネルが取付けにくい場合、屋根止結金具のボルトを緩めると取付けやすくなります。

◌は壁パネル止結金具固定箇所

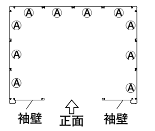



ボルト
間柱
壁パネル
壁パネル止結金具
ボルト
間柱
壁パネル
壁パネル止結金具
（断面図）

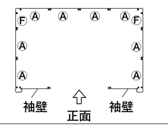

柱前・OD-右
袖壁
壁パネル
ボルト
ボルト

壁パネルの取付位置

2922（H）の場合

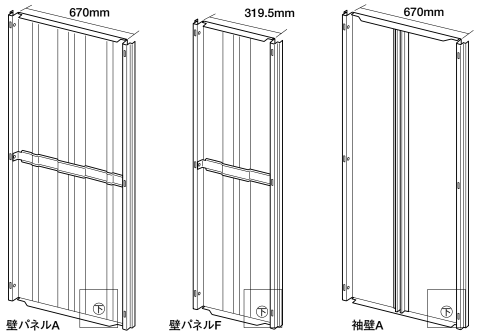


2918（H）の場合



ボルト　72本
壁パネル止結金具　66コ

壁パネルの種類

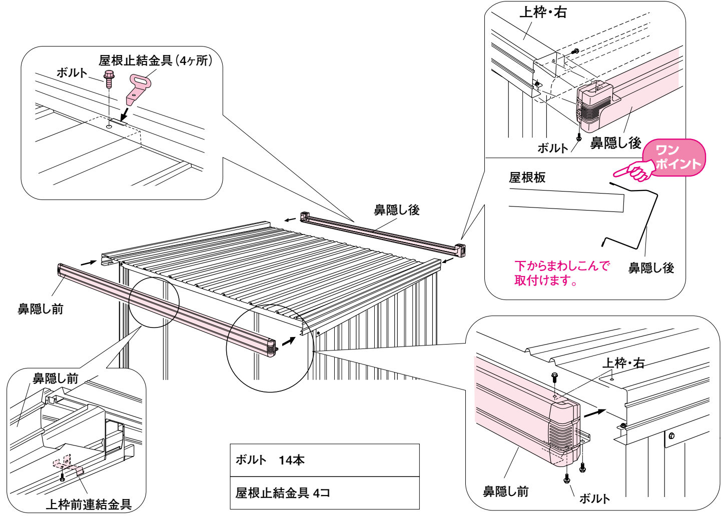

670mm
319.5mm
670mm
下
壁パネルA
壁パネルF
袖壁A

表示のある方が下です。

15 鼻隠しの取付け

注意 オプショントイを取付ける場合は、「オプショントイセット」組立説明書を先にお読みください。

①**鼻隠し前**の両端を**上枠・右、上枠・左**に差し込み、ボルト止めします。
鼻隠しの中央を**上枠前連結金具**にボルトで固定します。
②**鼻隠し後**も同様に取付けます。
③**屋根止結金具**を使って**鼻隠し後**を**屋根板**にボルト止めします。

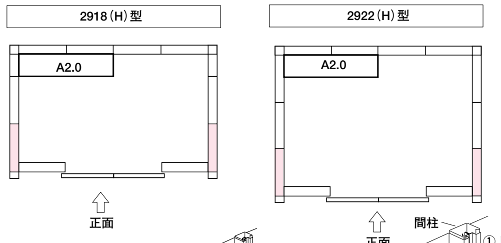

屋根止結金具（4ヶ所）
ボルト
上枠・右
ボルト
鼻隠し後
ワンポイント
屋根板
下からまわしこんで取付けます。
鼻隠し後
鼻隠し後
鼻隠し前
鼻隠し前
上枠前連結金具
上枠・右
鼻隠し前
ボルト

ボルト　14本
屋根止結金具 4コ

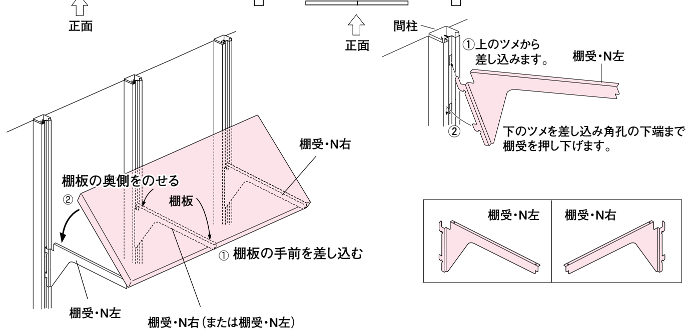
16 棚板の取付け

①**棚受**を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
②**棚板**を棚受の先端に差し込んでから取付けます。
（標準で棚板A2.0が2枚付いています。）

棚板が取り付けられる位置

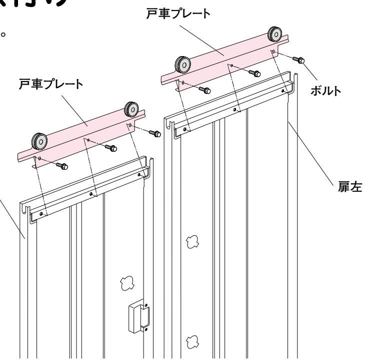

2918（H）型
2922（H）型
A2.0
A2.0
正面
正面

注意 ▭の壁パネルには棚受けは取付けできません。


間柱
①上のツメから差し込みます。
棚受・N左
②
下のツメを差し込み角孔の下端まで棚受を押し下げます。
棚受・N右
棚板の奥側をのせる
②
棚板
① 棚板の手前を差し込む
棚受・N左
棚受・N右（または棚受・N左）
棚受・N左
棚受・N右

17 戸車プレートの取付け

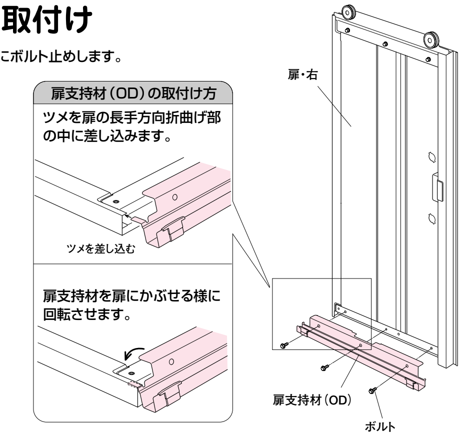
①**戸車プレート**を**扉・右、扉・左**に取付けます。


戸車プレート
戸車プレート
ボルト
扉右
扉左

ボルト　6本

18 扉支持材の取付け

①**扉支持材（OD）**を**扉右・左**にボルト止めします。


扉・右
ツメを差し込む
扉支持材（OD）
ボルト

扉支持材（OD）の取付け方

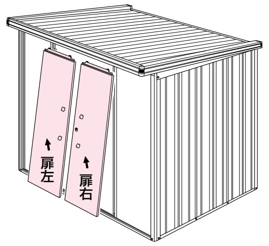
ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。

扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。

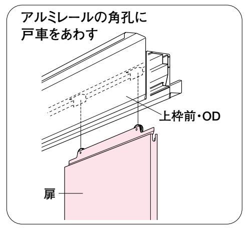
ボルト　6本

19 扉の吊り込み

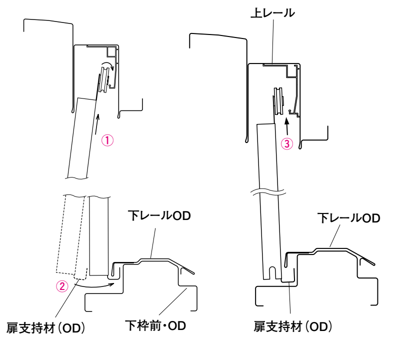
注意 扉を吊り込む際は下枠前ODの上面に砂埃が無いことを確認してください。



戸車を上レールの角孔に合わせて扉を吊り込みます。


アルミレールの角孔に戸車をあわす
上枠前・OD
扉

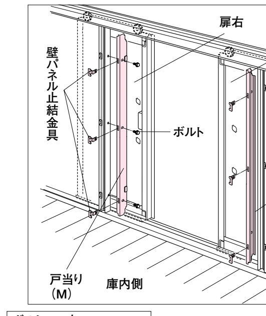
①戸車プレートを上レールに差し込みます。
まだ戸車を上レールにはのせません。①
②扉支持材を下レールODに引っ掛けます。②
③戸車を上レールの角孔に合わせ、扉を真っすぐに持ち上げ、扉支持材を下レールに引っ掛けながら戸車を上レールに落とし込みます。③


上レール
①
③
下レールOD
下レールOD
②
扉支持材（OD）
下枠前・OD
扉支持材（OD）

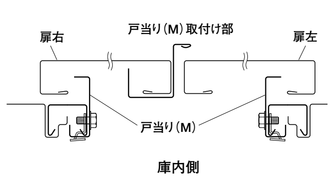
20 戸当り（M）の取付け

注意 扉を開閉した時、戸当りと扉（補強）が当たる場合は、戸当りを前後方向に調整してください。

①扉右・扉左・袖壁を図のように重ねた状態で間柱前に**戸当り（M）**を開口部側に壁パネル止結金具でボルトで取付けます。


扉右
扉左
壁パネル止結金具
ボルト
戸当り（M）
戸当り（M）
庫内側

戸当り（M）の取付位置


扉右
戸当り（M）取付け部
扉左
戸当り（M）
庫内側

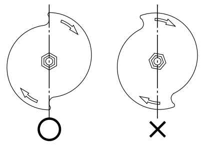
ボルト　6本
壁パネル止結金具 3コ

21 取手の取付け

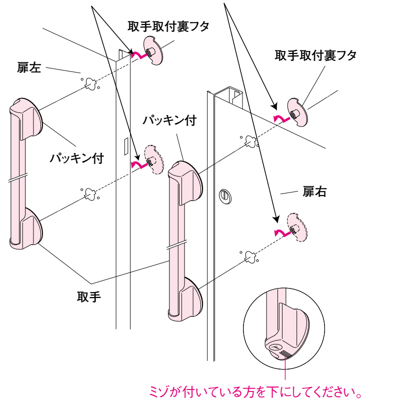
取手を**扉・右・左**に取付けます。扉を取手と取手取付裏フタで、挟み取手取付裏フタをT型スパナで90°回転させます。

注意 取手には上下があるので向きに注意してください。端にミゾがついている方を下に向けてください。

※取手取付裏フタを矢印の向きに90° 回転させます。



※取手取付裏フタを矢印の向きに90° 回転させます。

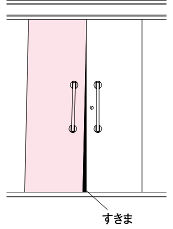

取手取付裏フタ
取手取付裏フタ
扉左
パッキン付
パッキン付
扉右
取手

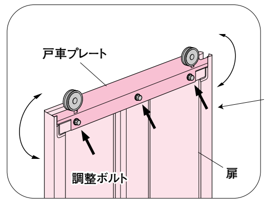
ミゾが付いている方を下にしてください。

22 扉の建付けの調整

①扉を閉めた時図のように隙間ができるような場合や、隙間がなくても鍵のかかりにくい場合は、戸車プレートを固定しているボルト（**調整ボルト**）をゆるめ、（扉1枚につき3本）調整します。

注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。扉の開閉が重い場合は工程6注意を参照してください。



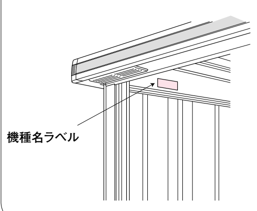

戸車プレート
調整ボルト
扉

ゆるめて調整した後締め直します。

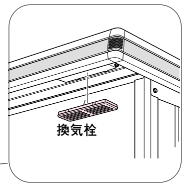
23 その他の部品取付け

①取扱説明書に同封の対応する**機種名ラベル**を上枠左に貼ります。

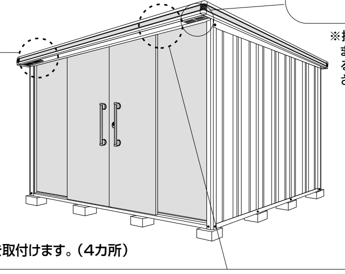
注意 機種名ラベルは必ず貼付けてください。



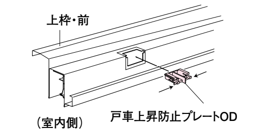
③**換気栓（左右共通）**をはめ込みます。



※換気栓には前後があります。製品の内側にある刻印で確認してください。



②上枠・前ODに**戸車上昇防止プレートOD**を取付けます。（4カ所）


上枠・前
（室内側）
戸車上昇防止プレートOD

※はずす時は、左右のツマミを持って手前に引きます。

注意 戸車上昇防止プレートは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉がはずれる原因になります。又扉を外すときは戸車上昇防止プレートODを必ず取り外してください。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。
本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

（2918（H）・2922（H））
ヨドコウ
淀川製鋼
（2008.2月制作）